

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 4 ダム管理におけるDX活用等検討業務
業 務 概 要	本業務は、ダム等について適切な維持管理の検討を行うために、現状の把握・課題の整理を行うとともに、DXを活用したダム管理の省力化・効率化の検討を行うものである。また「関東地方ダム等管理フォローアップ委員会」について資料のとりまとめを行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 若林 伸幸 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和 4年 6月 23日
契 約 業 者 名	R 4 ダム管理におけるDX活用等検討業務水源地環境センター・東京建設コンサルタント設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都 千代田区麹町二丁目 1 4 番地 2 麹町NKビル
契 約 金 額	1 4, 3 0 0, 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	1 4, 3 0 0, 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、経験、業務の的確性、実現性などを含めた技術提案を求め、簡易公募型に準じたプロポーザル方式（拡大型）により選定を行った。 R 4 ダム管理におけるDX活用等検討業務水源地環境センター・東京建設コンサルタント設計共同体は、技術提案書をふまえて当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	国土交通省関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 4年 6月 24日
履 行 期 間 (至)	令和 5年 2月 28日
備 考	会計法 2 9 条の 3 第 4 項 予決令第 1 0 2 条の 4 第 3 号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。